



とやま親学び 通信

令和2年2月14日発行
富山県教育委員会 生涯学習・文化財室

活動報告書の提出、ありがとうございました。講座の参加者アンケートも、多数提出いただき、講座の様子や工夫したことなどの情報がたくさん集まりましたので、ご紹介させていただきます。



1 リーダーのみなさんからの情報

【プログラムのアレンジ方法】

- ・「子供のがんばり応援したいね」は、小学生の内容だが、中学校での講座で使用した。
- ・「やる気を高める言葉がけとは? (発展プログラムP10)」を「高校」を「中学」に変えて使用した。
- ・「反抗期の子供と向き合う! (発展プログラムP9)」を使用した。小学生の保護者も参加しておられたので、「お子さんが悪いことをしたとき」「自身の子供のころ」などと付け加えた。
- ・「かかわり方を考えよう! (初期プログラムP25)」を使用した。問③を「②の理由」に変更し、③だけを付箋に書いてもらった。
- ・「ついイライラしてしまうお母さん」を使用した。グループワークの視点を「イライラする理由」と「子供との時間の作り方」とした。

やる気を高める言葉がけとは?

エピソード 将来は...?

あつし君は、高校2年生。高校卒業後大学への進学を何となく考えているものの、特にしたいことが見つからず、なんとなく勉強に身が入りません。以下は、そんな息子のことを心配したお母さんとあつし君との会話です。

あつし君: あなたは大学に行きたいんですか?
お母さん: もう少し積極的に勉強に取り組みないと、大学に行けなくなっちゃうよ。

あつし君: 今のままでどこかの大学に入れるでしょ。そもそも、勉強を頑張って大学に行くことがそれだけ大切なこと? たまたま大学に行けたとしても、その後の将来が保障されるわけじゃないし。それだったら、勉強は適当にやっつて、今を楽しんだ方がましなんじゃないの?

反抗期の子供と向き合う!

エピソード 叱る? 叱らない?

中学3年生の康太は、反抗期の真っ盛り。先日も、些細な母親の注意に逆巻いて、母親と口をきかないこと、1週間。母親は、康太にどう接したらよいか分からなくなってしまいました。そんなある日の夕方、買い物途中、康太と友達の家を見かけました。二人は、自転車の二人乗りをしています。歩行者や自動車にぶつかりそうになり、周りの人も迷惑そうに見えています。

発展プログラムP9 P10より抜粋

【オリジナルのプログラム】

- ・プラス面に焦点を当てた話し合いとなるよう、テーマを「うちの子のステキ♡カミングアウト～当たり前のカラをめぐすてて～」とした。
- ・参加者に「楽しかった」と思ってもらえるよう、テーマを「あなたの子供が興味をもっていることは何ですか?」とした。
- ・親学びノートの資料編「ネットに潜む危険性 ネット事件簿」をきっかけに、グループワークを行った。
- ・事前に「インターネットやメディアとの付き合い方」についてのアンケートをとり、その結果を使った。
- ・事前に「親から言われて嫌だった言葉とその理由、どうしたらやる気が出るか」についてアンケートをとり、その結果を使った。

下記のオリジナルのプログラムは、リーダーさんから提供いただいています。資料ご希望の方はご連絡ください。



「これって反抗期?」「チクチク言葉、ふわふわ言葉 この言葉はOKなの?」
「叱り方がわからない」「イライラに対処する」「子供が理解してくれる叱り方」



雰囲気づくりのための小物

【工夫したこと】

- ・事前に講座のイメージが伝わるように、「親学び講座」ではなく、「聞いてみよう、語ってみよう、子育ての悩み」というタイトルをつけた。
- ・講座名を「親学び 井戸端話の会」とした。
- ・保護者へ配布する案内のプリントに、テーマとその内容と「親学び講座とは?」を掲載した。
- ・飲み物とお菓子を準備し、「〇〇中Café」と名付けた。発表は、いくつかのテーブルだけにした。
- ・各テーブルに、折り紙で作った花とトイレットペーパーの芯で作ったマイクを準備した。
- ・自己紹介の項目(子供の名前の由来など)を示したカードを準備した。自己紹介の時間差を利用して、子供のよいところも書いてもらった。

- PTA役員と一緒に進行した。PTA役員が、グループワークの見本としてみんなの前で自分の意見を話したことで、参加者の緊張感がほぐれた。
- 男性グループと女性グループに分けた。グループで出た意見の発表が、意見の違いを理解する場となった。ベテランの推進リーダーさんにも同席いただいて、講座の最後に、先輩ママの立場でお話していただいた。
- 教頭先生にも同席していただき、使ったエピソードと類似した事例を話してもらった。
- 参加できなかった保護者のために、報告書を作成し配布した。報告書には、講座で使用した事前アンケートの結果と講座の参加者の意見や感想を掲載した。



PTA役員と二人での講座進行

【困ったこと】

- 効果的なPR方法を知りたい。
- 「親学び」という名称では、敬遠されてしまう。
- グループでの自己紹介の時間差があった。
- 参加者から「プログラムを自分で選びたかった」という声があった。
- 時間が限られていて、時間配分が難しかった。

より充実した講座にしようと、いろいろと工夫してくださっていることに、改めて感謝申し上げます。みなさんで共有できるよう、今後も情報をお寄せください。



(中略)

これって反抗期？

もうすぐ夕食の時間になるのに、ユウくんはテーブルの上のおもちゃをちっとも片付けません。何度も言い聞かせましたが、まったくやる気もありません。
「だって、僕だけじゃないんだもん！ お前も片付けるよ」
弟と言い争いになってしまったユウくんは、弟をガカリとなぐってしまいました。



① この様子を見ていたお母さん、お父さんは何と言うと思いますか。
セリフを書いてみましょう。



~~~~~

~~~~~



② 最近の子どもの様子で、気になることはありますか？

~~~~~

あなたが理想とする親の姿は？

## 伝える言葉 親から子へ、子から親へ

～チクチク言葉、ふわふわ言葉

この言葉はOKなの？～



タケヒロさんは、良男のカンタ君とサッカーをしていました。カンタ君は、どちらかという体を動かすより、絵を描いたりブロック遊びが好きな年長さんです。やり始めるうちにタケヒロさんはだんだんと熱が入ってきて、「ほら、ぼーっとしていないで」「どこ見て離ってるんだよー」など声を荒げてしまいました。「ぼく、そんなにサッカー上手じゃないもん」  
カンタ君はシクシクと泣き出してしまいました。



サワコさんは、ユウちゃんの保育参観に来ています。先生が「次のお話は・・・」と話し始めた瞬間、「知ってる知ってる・・・」とユウちゃんが話の続きをしゃべろうとします。「静かにしましょうね」と注意をされても、「なんで静かにするの～？」など大人をからかうような口ぶり。帰り道サワコさんはあきれ果て「ふざけてばかりで恥ずかしかった！もう幼稚園には来ないよ」とキレてしまいました。

① 子供への声かけで、ついチクチク言葉が出てしまうのは、なぜ？

~~~~~

② いつも暖かい言葉がけをするには？

~~~~~

③ 子供の個性を伸ばすには？

~~~~~



叱り方がわからない



イライラに対処する

%



イライラに対処する

%

子供が理解してくれる叱り方

演題：どんな叱り方をすると、子供は理解してくれるのか考えてみよう！！

1. 最近、子供に対して叱った事を思い出して、1つ、書いてみよう！



~~~~~

2. 叱った後の、子供の対応はどんな様子でしたか？□にチェックをお願いします)

- ①  素直に聞いてくれて反省した様子だった。
- ②  聞いてくれていたが、反省した様子ではなかった。
- ③  聞いている感じではなかった。
- ④  その他( )。

3. ①にチェック入ったのは、何が良かったからだと思いますか、また、①以外の場合どうしたら、良かったと思いますか？

~~~~~

『親学び講座』の開催について

日頃より 中学校PTA 活動に多大なご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、標題の件につきまして、下記のとおり開催いたします。

中学生の子供を持つ親同士で、子育てに関する悩みや問題点を語り合うことで、子供とのかかわり方や親としてのあり方を学ぶ機会にしたいと考えております。ご多用のこととは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 : 令和元年11月30日(土) 14:25~15:15 (6限目)
2. 場 所 : 中学校 2階会議室
3. テーマ : 「進路決定・親の想いと子供の希望」
4. 内 容 : 進路について、食い違う意見を持った親と子供のコミュニケーションについてのエピソードを取り上げ、お互いが納得し、よりよい進路に向かって家族が丸となるために、親としてどのように子供に接すればよいのか、グループで討論していただき、いろいろな意見を共有することで、各ご家庭での参考にしていただければと思います。

「親学び講座」とは・・・

身近に起こるかもしれない事例を取り上げ、その時、親としてどう対応したらよいか、どのように子どもと接したらよいかなど、いろいろな意見や考え方、悩みをグループになって話し合います。今まで気付かなかったことを発見したり、大切なことを再認識したりすることで、親自身が子育てに関する悩みや課題に気づき、成長していくことをおらいとしています。